平成28年10月17日

**平成28年度連盟通達第1報**

**リーグ戦における競技規則順守に関して**

**関東医歯薬大学ラグビーフットボール連盟**

**理事長　 菅　正剛**

**レフリー委員長　松本　芳郎**

　今シーズンも第5節まで終了しましたが、例年に比べ警告・退場例が多くなっているようです。

具体的には競技規則第10条のうち、

４．危険なプレー（リフトタックル、ハイタックル、レイトチャージ、ノーバインドでのラックへの参加等）、

２．不当なプレー（故意の違反：ノットロールアウェイ、自立せずに倒れたままプレー）、

３．反則の繰り返し（オフサイド、オフザゲート）、

など、怪我や事故につながる可能性がある反則から、個人やチームで注意すれば防げるものまで多岐にわたっております。

　各チームとも今一度競技規則、2016年度レフリングの指針（日本協会機関誌掲載）等を熟読の上、試合担当レフリーともコミュニケーションをとりながら、無用な怪我や反則が増加しないようご協力をお願いいたします。